

2019 年度(第 20 期)

事業報告書

【期間：2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日】

目次

I. この 1 年を振り返って	・・・ 1
II. 事業報告	
1. NPO 支援事業	・・・ 3
2. NPO のための資源仲介事業	・・・ 9
3. 調査研究、政策提言事業	・・・ 11
4. 東日本被災地支援およびその他の災害支援事業	・・・ 13
III. 組織運営	・・・ 15

特定非営利活動法人 市民活動センター神戸

(KEC ; Kobe Empowerment Center)

I. この一年を振り返って

2019年度はKECにとって大きな変化の時期でした。2011年から立ち上げを支援してきた「ひょうごコミュニティ財団」の自立にめどがついてきた一方、両法人の整理、統合が課題に上がっていました。1年をかけて議論し、新年度からのKECの縮小＝アドボカシー活動への特化（NPO支援事業のコミュニティ財団への移譲）となりました。

また、年度末に至り新型コロナウイルスの感染拡大による大災害的な状況の中で、県内のNPOの仲間とともに機動的な提言活動も行いました。これは今後のKECのあり方を示唆するものと思われます。

ひょうごコミュニティ財団の事業の進展と、KECとの事業統合

ひょうごコミュニティ財団はこの3年ほどの間、寄付や助成プログラムがさらに進展し、2019年度の助成額は約2400万円（2018年度＝約1400万円）と、法人設立7年目にして地域の中で存在感のあるコミュニティ財団として成長してきました。財団は新年度、新型コロナウイルスにより生じた困難に取り組む活動を支援するための新基金を設立するなど、地域の中で必要とされるインフラ組織になりつつあります。9年間にわたるKECの支援が大きな成果を挙げたと言ってよいと思います。（→事業2-(1)）

この歩みをさらに着実に進めるために、KECとコミュニティ財団、両法人の事業統合の話を1年間かけて進めて来ました。通常総会、7月の会員集会（東京）を経て、1）KECのアドボカシー活動への特化、2）NPO支援事業のコミュニティ財団への移譲、3）その結果として、KECの小型化、を柱とする組織・事業両面の改編を決めました（2020年4月より）。

KECは小型化しますが、得意とする調査研究や政策提言、情報発信に特化し、すでにHYOGONなどのネットワークと連携し、小振りでも意義ある、また成果の出る活動を続けています。

NPO支援の事業

長年蓄積してきた「アドバイザー派遣」（伴走支援）のニーズが増えてきました。単発の要請が継続的にあるほか、神戸市灘区社会福祉協議会からは区内の団体向け支援の業務委託を受けました。また、コミュニティ財団の助成先でも非資金的支援のニーズが高まり、合同で検討会を継続的に開催しました。このアドバイザー派遣は、経験ある人材の集積と、相互の経験交流・切磋琢磨の継続が重要であり、これまでのKECの蓄積・ネットワークが生きています。新年度からはコミュニティ財団に中心は移りますが、引き続きKECとしても貢献してまいります。

このほか、昨年同様、認定NPO法人取得の支援や丹波市市民活動センターの設立・運営の支援などを中心に実施しました。

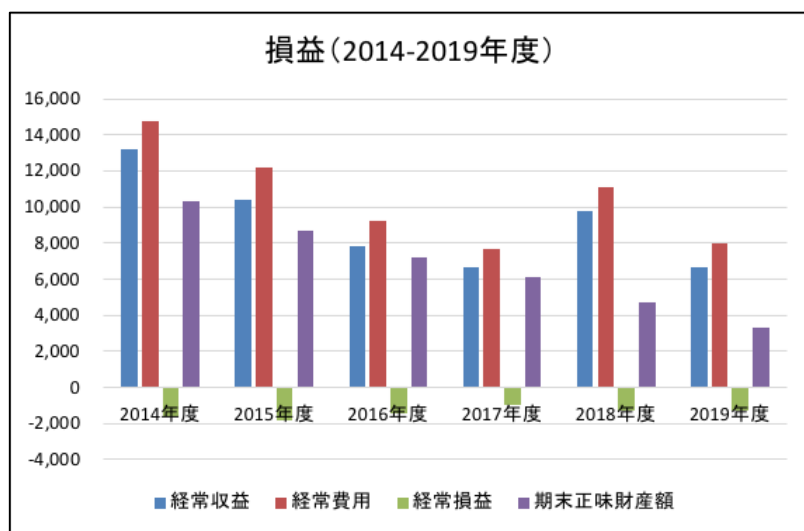
体制、財政など

当年度は142万円余の赤字決算となり、2014年度から6期連続の赤字となりました。結果、期

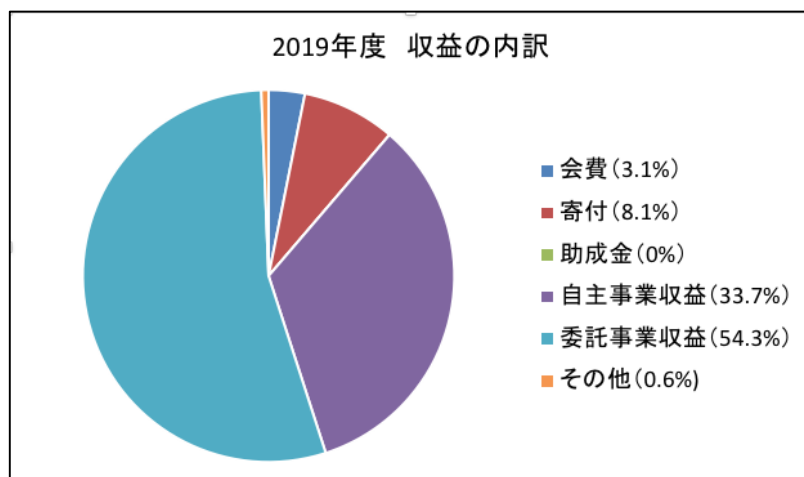
末の正味財産額は 2013 年度末の 1187 万円から当期末 329 万円へと大きく減りました。これは、コミュニティ財団の立ち上げのために繰越金は限界まで投入するという方針であり、無事コミュニティ財団が離陸と呼べる状態になりましたから必要な投資として問題はないと考えています。新年度からは小型の法人となるため、当面の活動原資および組織維持の資金には不足はありません。

2010 年 10 月から取得してきた認定 NPO 法人資格ですが、2020 年 3 月 22 日に満了日を迎え、上記のように小規模な法人になることから、更新手続きを取らず終了しました。

1. 損益の経年変化



2. 2019 年度・収益の内訳



Ⅱ. 事業報告

1. NPO 支援事業

引き続き認定 NPO 法人の申請・取得支援事業や、その他の一般的な相談業務を行いました。
冒頭に記したように、今年度をもって KEC が行ってきた NPO 支援の事業はひょうごコミュニティ財団に移管しました。

(1) 認定 NPO 法人相談窓口事業(受託) 担当：実吉、大島、北内

神戸市からの受託により実施。窓口開設及び出張相談では、認定 NPO 法人制度の基礎知識や具体的な申請手順、認定取得後の義務、所轄庁の監督について説明し、団体の状況に応じたアドバイスを行った。説明会では認定 NPO 法人制度の概要・要件について及び認定取得・更新に向けた組織運営の実務についての説明会を企画し、開催した。

①認定 NPO 法人制度及び認定取得・更新のための組織運営(会計含む)に関する相談窓口

15 団体計 40 回(新規 8 団体、継続 7 団体)

②認定取得・更新のための組織運営(会計含む)に関する出張相談

7 団体計 7 回(新規 2 団体、継続 5 団体)

③認定 NPO 法人制度及び認定取得・更新のための組織運営(会計含む)に関する説明会の企画・開催

【①認定 NPO 法人制度入門講座】

<夏季>

講座名：「認定 NPO 基礎講座」—認定 NPO 法人の職員さんに率直なお話を聞けるシリーズ①—

事例提供：認定 NPO 法人しみん基金・KOBÉ 戸田香苗さん

進行役：大島

回	実施日/会場	参加者数	内容
1	実施日：2019 年 8 月 6 日(火) 会場：神戸市勤労会館	9 名	認定 NPO 法人とは(制度紹介)、 申請や報告の実際の手続き等

開催概要・報告：https://kobekec.net/2019ninteinpo1_kobe/

<秋季>

講座名：「認定 NPO 基礎講座」—認定 NPO 法人の職員さんに率直なお話を聞けるシリーズ②—

事例提供：認定 NPO 法人東灘地域助け合いネットワーク 藺直人さん

進行役：北内

回	実施日/会場	参加者数	内容
2	実施日：2019年12月6日(金) 会 場：神戸市勤労会館	10名	認定 NPO 法人とは(制度紹介)、 申請や報告の実際の手続き等

開催概要・報告：https://kobekec.net/2019ninteinpo2_kobe/

【②認定申請のための「運営基礎」確認講座】

講座名：ひとりで不安を抱えない！うっかりミスを防ぐ！ための「NPO 法人の事務基礎講座」

講 師：北内

回	実施日/会場	参加者数	内容
1	実施日：2019年7月31日(水) 会 場：神戸市勤労会館	16名	定款の確認、所轄庁・法務局への届け出及び報告等

開催概要・報告：https://kobekec.net/2019npojimu_kobe/

【③認定を目指す団体向けの「会計」スキルアップ講座】

講座名：基本的なミス・間違いを蓄積させてしまう前に！「NPO 法人会計合同相談会」

講師(全回共通)：NPO 会計支援センター 村上義弘さん

回	実施日/会場	参加者数	内容
1	実施日：2019年7月20日(水) 会 場：神戸市勤労会館	10名	記帳と仕訳の見直し
2	実施日：2018年7月17日(水) 会 場：神戸市勤労会館	5名	決算準備作業の見直し
3	実施日：2018年7月24日(水) 会 場：神戸市勤労会館	6名	財務諸表と注記の見直し

開催概要・報告：https://kobekec.net/2019npokaikei_kobe/

【④認定を目指す団体向けの「監事」スキルアップ講座】

講座名：NPO 法人の「監事」スキルアップ勉強会

講 師：岩永清滋税理士・公認会計士事務所 岩永清滋さん

回	実施日/会場	参加者数	内容
1	実施日：2019年12月20日(金) 会 場：神戸市勤労会館	11名	会計監査・業務監査の際のチェックポイント、注意点等

開催概要・報告：https://kobekec.net/2019npokanji_kobe/

【⑤認定を目指す団体のための「広報」実践講座】

講座名：「NPO 法人の広報実践講座—人と信頼と寄附が集まる広報とは—」

講師：神戸新聞社編集局報道部長 長沼隆之さん

回	実施日/会場	参加者数	内容
---	--------	------	----

1	実施日：2019年11月20日(水) 会 場：神戸市勤労会館	10名	NPOの活動の魅力や意義を「記事になる文章」で表すには
---	-----------------------------------	-----	-----------------------------

開催概要・報告：https://kobekec.net/2019npokoho_kobe/

【⑥認定NPO法人向け講座】

講座名：「神戸市内認定NPO法人情報交換会」

話題提供：実吉(認定NPO役立情報)、神戸市市民参画推進局市民協働課(認定更新手続き)

回	実施日/会場	参加者数	内容
1	実施日：2018年8月21日(水) 会 場：神戸市勤労会館	16名	認定を活かすためのグループワーク、更新手続き解説等

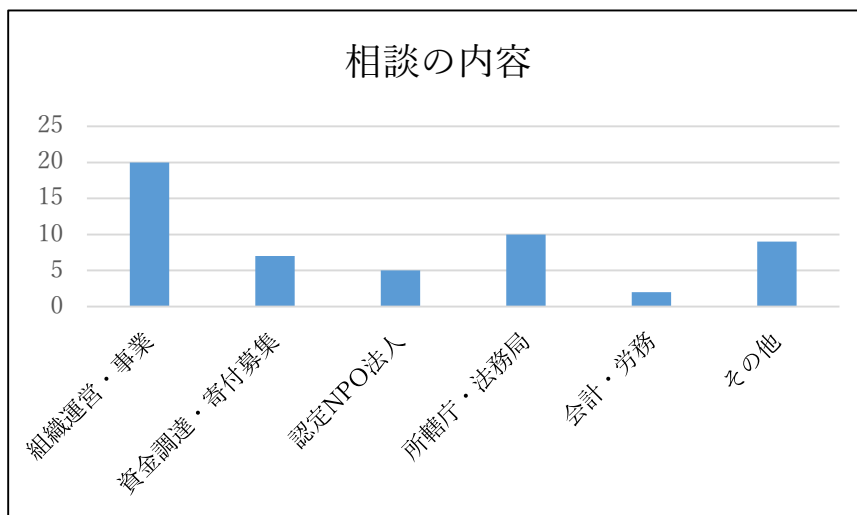
開催概要・報告：<https://www.facebook.com/kobekec/posts/2611639715521483>

(2) 相談・セミナー事業(自主) 担当：実吉、北内、東末(外部アドバイザー)、堀(同)

電話・メール・問い合わせフォームからの相談を受け付け、当会事務所へお越しいただいたの対面相談のほか、講師派遣や交流会、セミナー開催等の機会を通じ支援を行った。

① 【継続】窓口相談

組織運営、資金調達、会計等多様な相談や問い合わせに応じた(延べ43件;記録のあるもののみ)。



※重複あり。

※認定NPO法人に関する相談は神戸市外から寄せられたもの。神戸市内に主たる事務所を置くNPO法人等からの相談については1-(1)にて受け付けた。

② 【新規】セミナー、個別支援

【社会福祉法人神戸市灘区社会福祉協議会 福祉基金事業 令和元年度アドバイザー派遣制度】

社会福祉法人神戸市灘区社会福祉協議会より受託実施。同区社協の助成を受け灘区内で活動する NPO 法人およびボランティア団体を対象とし、助成期間終了後の活動計画づくり、組織基盤整備等についてアドバイスや個別支援を行った。

<講 座>

- ・[日 程] 2019年8月29日(木)13:30-15:15
[内 容] 「上手な組織運営方法 研修会」講師 / 実吉

<個別支援>

- ・団体①：1回(11月21日) / 東末真紀氏(外部アドバイザー)
- ・団体②：1回(11月27日) / 実吉、堀清美氏(外部アドバイザー)
- ・団体③：3回(11月12日、12月2日、12月16日) / 北内、実吉、堀
- ・団体④：1回(12月11日) / 北内、実吉、堀

③【継続】NPO 学び支援

【講師派遣】：6回

依頼を受けた下記講座等に対し役職員の派遣を行った。

- ・[派遣先] 第37回全国ボランティア推進団体会議実行委員会
[日 程] 2019年7月6日(土)13:00-19:30
[内 容] 第37回全国ボランティア推進団体会議(民ボラ) in 千葉～SDGs が取り残すもの～
分科会2「休眠預金活用時代の草の根市民運動」話題提供 / 実吉
- ・[派遣先] NPO 法人日本 NPO センター
[日 程] 2019年10月2日(水)13:00-翌3日(木)16:00
[内 容] NPO 支援力応援プログラム(中堅者研修2019)「中堅の NPO 支援者が伴走支援を行うにあたって重要な心構えと支援力とは」講師 / 実吉
- ・[派遣先] 神戸ソーシャルブリッジ(NPO 法人しゃらく)
[日 程] 2019年10月8日(火)18:30-20:30
[内 容] 神戸ソーシャルブリッジセミナー「NPO 伴走支援の実際」講師 / 実吉
- ・[派遣先] 社会福祉法人神戸市中央区社会福祉協議会
[日 程] 2019年10月19日(土)14:00-16:00
[内 容] 「中央区支え合いミーティング」講師・コーディネーター / 実吉
- ・[派遣先] 兵庫県農政環境部農林水産局豊かな森づくり課
[日 程] 2019年11月2日(土)13:45-15:15
[内 容] 令和元年度森林ボランティア講座「ボランティア団体運営の基礎」講師 / 北内
- ・[派遣先] 社会福祉法人丹波市社会福祉協議会
[日 程] 2020年1月21日(火)13:30-15:30
[内 容] 令和元年度中間支援組織についての研修会「中間支援組織としての社協の役割について」講師 / 実吉
- * [派遣先] 社会福祉法人高知県社会福祉協議会

[日 程] 2020年3月7日(土)13:30-16:00

[内 容] 「NPO活動に活用できる資金となるか?『休眠預金』学習会」講師 / 実吉

※新型コロナウイルスの感染拡大により中止。

④セミナー

【丹波市市民活動中間支援人材育成業務】

前年度より開設に協力してきた「丹波市市民活動支援センター」が1年余の準備期間を経て10月にオープン。開設後のセミナー、ワークショップ等に協力した。

- ・9月28日(土) 開設前ワークショップ / 北内
- ・10月20日(日) オープニングイベント / 実吉、北内
- ・3月5日(木) 研修(法人格の選択について) / 実吉

(3) 神戸元町 NPO ポート事業(自主) 担当: 本田、辻

成長期団体へ設備等を提供し、本来活動へ専念することができるよう支援を行った。

提供内容	入居団体
1室(3F 西側部屋)	兵庫県学童保育連絡協議会・神戸市学童保育連絡会
デスク、PC、事務機器	(公財)ひょうごコミュニティ財団
シェアデスク	利用なし

(4) その他の NPO 支援事業(自主、協力) 担当: 実吉、北内

2018年度を持って終了した「NPO・地域支援アドバイザー派遣事業」の後継となる「会計事務等支援アドバイザー派遣事業」において、ふれあいのまちづくり協議会へのアドバイスを担当した。

②および③については昨年度と同様に各ネットワークの活動及び運営へ参画し、新たな支援先や協働先の開拓にも努めた。

①【新規】会計事務等支援アドバイザー派遣事業

神戸市市民協働課の委託により(特活)神戸まちづくり研究所が実施する同事業においてアドバイザー登録。ふれあいのまちづくり協議会の事務機能と運営力向上のため、会計・事務と運営について、各団体の実情・課題に応じた支援を行った。

【個別団体へのアドバイス】

- ・組織運営等: 2回(7月19日、9月19日) / 北内

【会議への参加】

・ミーティング：2019年7月9日(火)、12月13日(金)、2020年2月7日(金)

②【継続】ひょうご市民活動協議会(ひょうごん)

今年度から(共同)代表兼運営委員となり、引き続き運営及び各種事業へ参画。/ 実吉

開催概要・報告：<https://hyogon.net/>

③【継続】ひょうごん福祉ネット

加盟団体として運営及び各種事業へ参画。/ 実吉

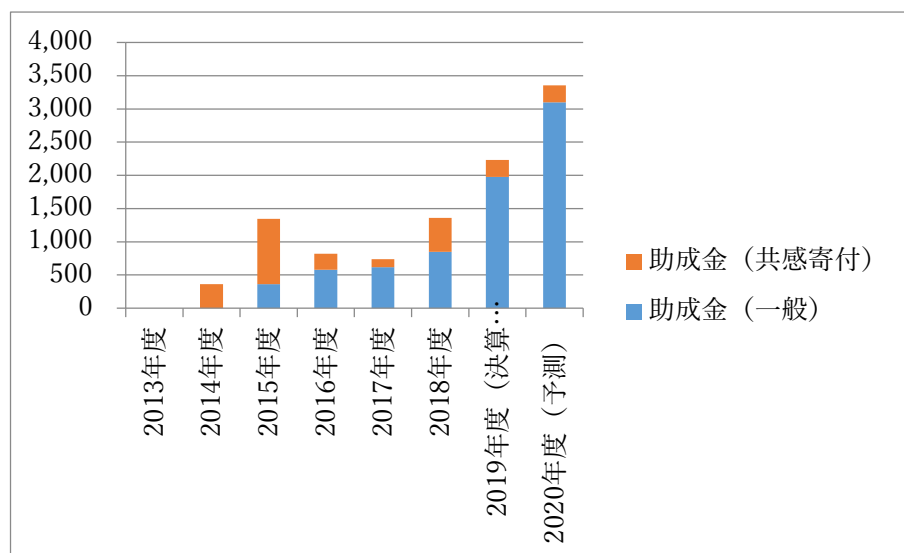
開催概要・報告：<https://hyogon.wixsite.com/fukushi-net>

2. NPOのための資源仲介事業

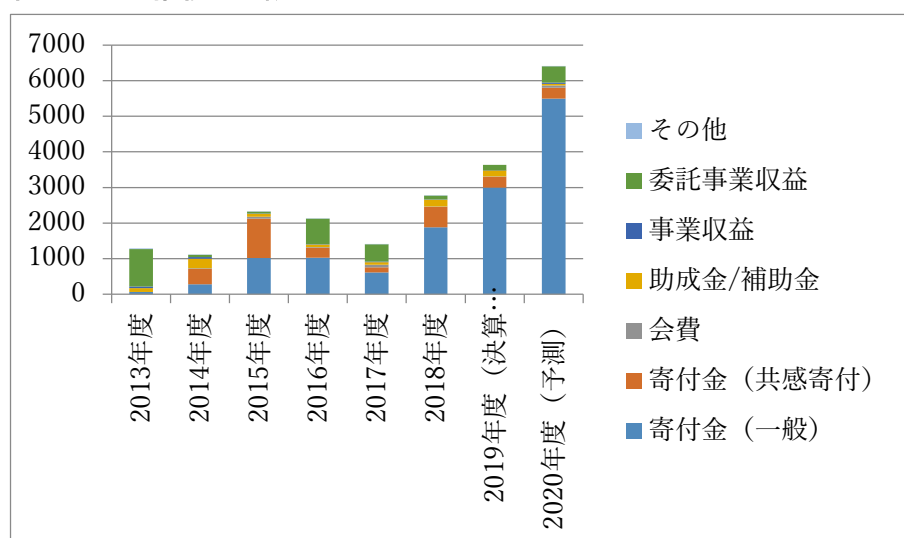
「公益財団法人ひょうごコミュニティ財団」は設立（2013年6月）から7年目を迎え、この2、3年は寄付や助成プログラムも大きく進展しました。助成額は740万円/2017年度～1330万円/18年度～2250万円/19年度（見込み＝財団は6月決算）と大きく成長してきました。財源も寄付金が9割以上を占め、コミュニティ財団の本義である「地域の・民間の・意志のあるお金の循環」が着実に拡大しつつあります。徐々に地域社会において存在感のある助成機関・寄付仲介機関となってきたと言えるでしょう。2020年4月からは、KECが長年担ってきた相談やアドバイザー派遣等の非資金的支援も実施する総合的な支援機関となっています。

これはKECとしても大きな成果であり、財団設立から10年となる2023年まで、あと3年程度で後継体制も含めた自立と安定への道筋を描きたいと考えています。

<ひょうごコミュニティ財団 助成額の推移>



<経常収益の推移と内訳>



(1) ひょうごコミュニティ財団支援事業(自主) 担当：実吉、北内

財団の日常業務に対する支援を行った。

- ・基金運営、ファンドレイジング、伴走支援等(通年) / 実吉
- ・広報物作成、ウェブサイト更新、会議等補助、庶務(都度) / 北内

【ひょうごコミュニティ財団の2019年度の主な事業】

○有園博子基金

故有園博子さん(兵庫教育大学教授=当時、2017年末にご逝去)のご遺贈(約1億円)を受けて設置した被害者支援のための基金。2期目となり、継続+新規公募で計12件、1102万円の助成を実施した。1期目の団体には、「支援者キャリアアップ助成」として、人材育成・研修などの費用を追加助成した。また、団体間相互のネットワーク作りも応援している。

○輝け加古川みらい基金

2018年度から分野を「男女共同参画」にも拡大し2期目となり、通算第5期の公募助成により2コース計22団体に計300万円を助成。

○真如苑・ひょうご子ども応援基金

2019年度から、テーマを「外国人・多文化共生の支援」に変え、その1期目(通算4期目)の公募助成を実施。4団体に計120万円を助成(2019年11月からの1年間)。

○「子どもの居場所を守る!緊急活動助成」(新型コロナウイルス緊急助成)

新型コロナウイルスの影響で2020年3月から実施された全学校の一斉休校に際し、子どもの居場所支援のための緊急助成を実施。45団体に対して計261万円の助成を実施した。

(詳細)<https://hyogo.communityfund.jp/>

(2) その他の資源仲介事業(自主、助成) 担当：実吉、北内、本田

※【継続】明治ホールディングス社による菓子のご寄贈

明治ホールディングス株式会社及び同社株主の社会貢献活動の一環として行われている「お菓子寄贈プログラム」(全体事務局：NPO法人日本NPOセンター)について、昨年度まで当会が兵庫県内事務局を担っていたが、今年度より(公財)ひょうごコミュニティ財団へ事務局業務の引き継ぎを行ったため、当会では実施しなかった。

3. 調査研究、政策提言事業

この1年は、休眠預金制度は資金分配団体の公募・選考、続いて実行団体の公募・選考という事業実施の段階に入っており、大きな提言活動はしませんでした。

年度末から新年度にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大による大災害的な状況の中で、「県による休業要請への協力金」について、NPOもその対象となるようHYOGONを舞台として県内のNPOの仲間とともに提言活動を行い、着実に成果を得ました。

(1) NPO やまちづくりに関する調査、政策提言(自主) 担当：実吉

①【継続】休眠預金等活用法への政策提言

大きな活動はなし。いくつかの会合で休眠預金制度に関する解説や意見表明等を行った。

②新型コロナウイルスに関連する提言活動

感染拡大に伴い、各都道府県が事業者に対して行った「休業要請」はその対象にNPO法人等になるかどうか不明であった。同等の事業をしてもNPO法人等が対象から外れるという不合理が他の都府県で散見されたため、HYOGONを中心に兵庫県に提言し、兵庫においてはNPO法人等が明示的に対象に含まれるという結果を得た（実際に提言に動いたのは4月）。

(2) 機関誌「みみずく」発行事業(自主、助成) 担当：実吉

今年度は発行しなかった。

(バックナンバーURL) : https://kobekec.net/organ_mimizuku/

(3) 役員就任、審議会、研究会、ネットワーク等(自主) 担当：実吉

団体、個人として以下の団体、ネットワークの役員・会員、および審議会等のメンバーとなった。創設以来20年近くが経つひょうご市民活動協議会(HYOGON)については、今年度より実吉が共同代表の1人となった。

【団体】

・ひょうご市民活動協議会(正会員)

- ・ひょうごん福祉ネット(加盟団体)
- ・ひょうご中間支援団体ネットワーク(参加団体)
- ・避難サポートひょうご(事務局)
- ・市民ファンド推進連絡会(世話団体)
- ・NPO 法人会計基準協議会(メンバー)
- ・NPO 会計税務専門家ネットワーク(正会員)
- ・日本災害復興学会(正会員)
- ・NPO 会計支援センター(会員)
- ・認定 NPO 法人日本 NPO センター(正会員)
- ・認定 NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会(団体賛助会員)
- ・認定 NPO 法人茨城 NPO センター・コモンズ(正会員)

【個人】

- ・ひょうご市民活動協議会 代表・運営委員 / 実吉
- ・ひょうご中間支援ネットワーク手引きプロジェクトチームメンバー / 実吉
- ・神戸市居住支援協議会 会員 / 実吉
- ・神戸市中間支援 NPO と行政の意見交換会 メンバー / 実吉
- ・日本 NPO センター・支援センターCEO 会議 / 実吉
- ・NPO 広報力向上委員会 委員 / 実吉
- ・災害救援ボランティア活動支援団体連絡協議会 会議委員 / 実吉(代理・北内)
- ・市民による追悼行事を考える会 呼びかけ人 / 中田

4. 東日本被災地支援およびその他の災害支援事業

引き続き福島県を重点支援先として、兵庫への避難者支援などを実施しました。今年度は「避難サポートひょうご」の活動(事務局)が主となりました。

(1) 東日本大震災の被災地支援(自主) 担当：実吉

①被災地 NPO 応援基金 I・II

今年度は基金 I へ 5 万円、基金 II へ 5 万円(計 10 万円)のご寄付をお預かりした。基金 II へのご寄付については当会が事務局を担う「避難サポートひょうご」の活動へ充当した。

基金 I へのご寄付については昨年度からお預かりしている 10 万円とあわせ、次年度に福島の NPO への助成として活用する。

(2) 東日本大震災・福島第一原発事故による広域避難者支援(自主、助成) 担当：実吉

① 避難サポートひょうご

東日本大震災・福島第一原発事故により兵庫県内に避難している方々を支援する緩やかなネットワークとして発足した「避難サポートひょうご」の事務局を、兵庫県社会福祉協議会とともに 2012 年より継続して担っている。このネットワークは 3 月末現在、約 50 の当事者団体・支援者団体と個人支援者などで構成されており、震災から 8 年を経た 2020 年 3 月現在もそれぞれが支援活動を続けている。避難サポートひょうごとしては個々の活動ではできない場づくり、情報発信や提言活動などを中心に活動している。

今年度は「神戸市『協働と参画』推進助成」(認定 NPO 等支援助成金)を受け実施したが、2-3 月に予定していた毎年恒例の避難者交流会は新型コロナウイルスの影響により中止した。

【情報発信】

- ・パンフレットの改訂・発行

今年度は改訂せず。

- ・ホームページ、Facebook ページの運営

ホームページでは本ネットワークの基礎的な情報の更新を、Facebook で各支援団体のイベント情報などタイムリーな情報の発信を行っている。

【避難者交流会の開催】

2020 年 2-3 月に交流会を開催する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

【会合等】

- ・ 2019 年 5 月 23 日(木) 世話人会
- ・ 2019 年 7 月 10 日(水) 全体会
- ・ 2020 年 2 月 12 日(水) 世話人会

(3) その他の災害支援事業(自主) 担当：実吉、北内

委員として参画している各協議会等に対し過去数年間欠席が続いていたが、近年の災害増加に対し支援を担う NPO への対応を強化する視点からも積極的に参加した。

①災害救援ボランティア活動支援団体連絡協議会

以下の訓練及び企画会議へ参画。

- ・ 2019 年 9 月 5 日(木)

平成 31 年度災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議 / 北内

Ⅲ. 組織運営

1. 会議

特定非営利活動促進法第14条及び当会定款第16～34条に基づき、以下の会議を開催した。

(1) 2019年度通常総会

日 時：2019年6月23日(日)14:00～16:30

場 所：秋毎ビル2階会議室

出席者：出席正会員51名(うち書面表決または表決委任者36名) (正会員総数59名)

審議事項：第1号議案 2018年度事業報告案承認の件(全会一致で承認)

第2号議案 2018年度決算案承認の件(全会一致で承認)

協議事項：2019年度事業計画および予算について

開催報告：<https://www.facebook.com/kobekec/posts/2519306331421489>

(2) 理事会

	開催日	審議事項	出席者
第80回	2019年4月6日(土) 16:00-18:00	第1号議案 総会議案について 第2号議案 事業計画案承認の件 第3号議案 予算案承認の件	理事8名(うち表決委任3名)、監事1名
第81回	2019年6月8日(土) 18:00-20:00	第1号議案 総会議案について	理事8名(うち表決委任2名)、監事1名
第82回	2019年7月3日(水) 11:00-11:30	第1号議案 正副理事長選任案承認の件	理事8名(うち書面表決4名、表決委任2名)
第83回	2019年8月4日(日) 15:00-17:00	(協議事項のみ)	理事7名(うち表決委任2名)、監事1名

(3) その他(会員集会)

	開催日	協議事項	出席者
第1回	2019年7月5日(金) 18:30-20:00	当会の今後について (意見交換)	関東近郊在住の正会員 4名及び実吉事務局長

第2回	2019年11月4日(月・祝) 15:00-17:00	当会の今後について (意見交換)	正会員9名 (うち役員4名)
-----	--------------------------------	---------------------	-------------------

2. 会員

	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末
正会員	67	66	67	63	59
賛助/個人	1	1	0	10	3
賛助/団体	2	1	0	5	2
利用/個人	0	0	0	0	0
利用/団体	1	0	0	0	0
計	70	68	67	78	64
(内、正会員以外)	3	2	0	15	5

3. 役員

(理事8名、監事2名)

理事 中田豊一(理事長)

理事 森田博一(副理事長)

理事 磯辺(東方)康子

理事 栗原英文

理事 実吉威

理事 諏訪晃一

理事 早瀬昇

理事 山下淳

監事 土肥直紀

監事 宮崎洋彰

任期：2017年6月3日～2019年6月23日 ※6月23日開催の通常総会にて全員重任

2019年6月23日～2021年度通常総会終了時

4. 事務局

・事務局職員

	市民活動センター神戸	ひょうごコミュニティ財団兼務
常勤	北内 はるか(～2019年12月)	実吉 威(事務局長)
非常勤	大島 一晃	本田 直子(～2019年12月)

(以上)